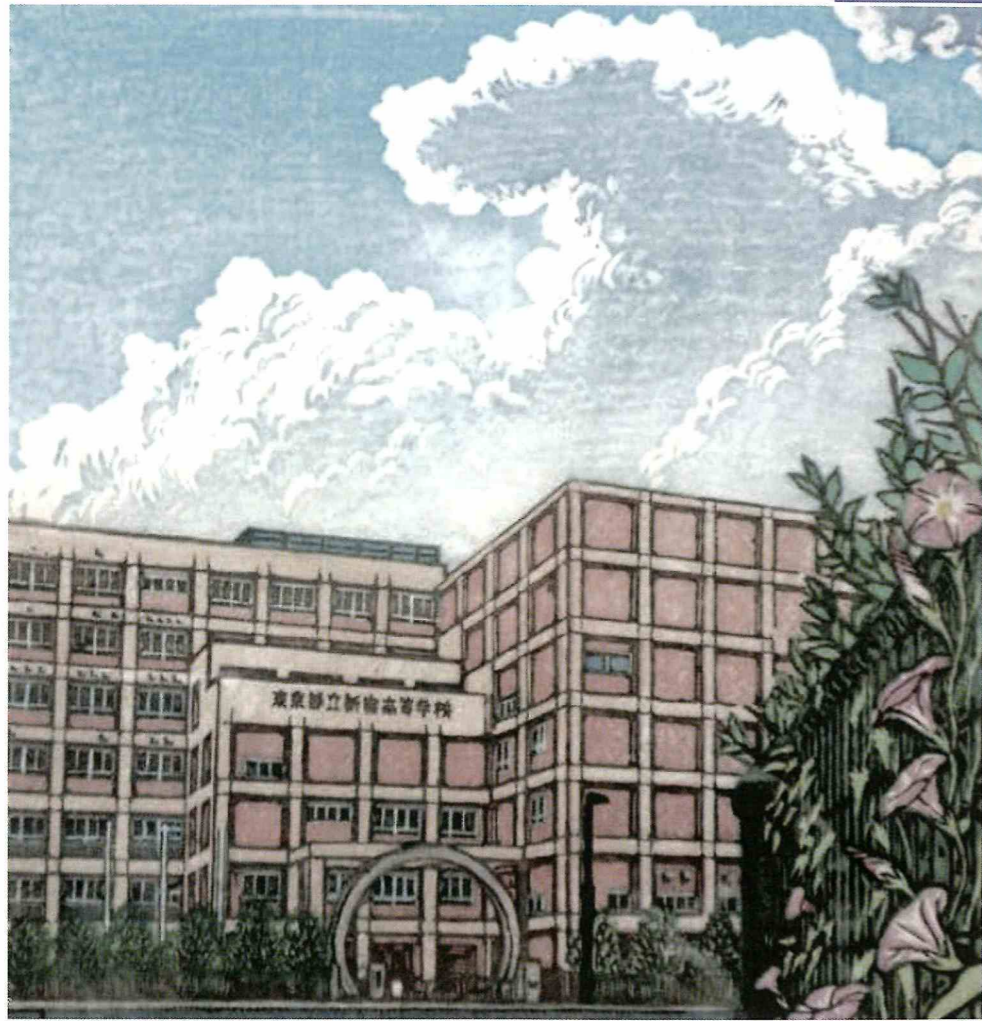


2023 学校案内

東京都立新宿高等学校

Tokyo Metropolitan Shinjuku High School



54回生 木版画家 百瀬晴海 作



翔べ 知の森 新宿高校へ

東京都立新宿高等学校

〒160-0014 東京都新宿区内藤町11番4
TEL.03(3354)7411 FAX.03(3225)4402
URL.<http://www.shinjuku-h.metro.tokyo.jp>



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



守るべきものがある
伝えるべきことがある
新宿高校 あらたな百年へ



ごあいさつ

第22代校長 藪田 憲正



本校は、大正10年(1921年)に東京府立第六中学校として開校しました。今年度100周年記念行事が予定されています。

創立以来、本校は「全員指導者たれ」という校是のもと、大正、昭和、平成、令和と四つの時代を歩んできました。

この間、古くは関東大震災や第二次世界大戦、新しくは東日本大震災や昨年来の新型コロナウイルスの感染拡大など、その時代、その時代の多くの苦難を乗り越え、日本や世界の指導者たるにふさわしい人材を送り出してきました。

校是である「全員指導者たれ」を実現するために、本校の教育の柱は「自主・自律・人間尊重」としています。リーダーとして周りの人々とともに困難に果敢に立ち向かう努力ができる自主性と、常に自分がリーダーとしてふさわしい知識や行動力があるかを振り返り律することができる自律、そして周りの全ての人々の人格を重んじ、その人たちが最大限の力を発揮できるよう導いていける人間尊重の精神、これらを本校での学校生活の中で磨けるよう教育活動を行っています。

創立以来の「大家族主義」

本校は、創立されてから、「大家族主義」の理念のもと在校生、教職員、保護者、卒業生がまるで「大家族」のように、教育活動を一体となって実施しています。

その理念を具現化したものの一つに「進路は補欠なき団体戦」という言葉に基づく進学指導があります。進路実現に向け、「在校生、教職員、保護者、卒業生」が一丸となって、キャリア教育や進路指導に関する行事等に取り組んでいます。

「進学指導特別推進校」としての取組

本校は、東京都教育委員会から「進学指導特別推進校」として指定されています。また、「進学重視型単位制高校」という特色もあり、教員も一般の高校よりも多く配置されており、熱い情熱をもった教員により、手厚い習熟度別授業や特色ある科目の設置により生徒の希望進路実現に資するよう取り組んでいます。

また、進路指導・学習指導・生活指導を一体的に行う、「新宿システム」により、「進学するだけの学校から真のリーダーは生まれぬ」として、学校生活全てをとおして生徒を鍛え育てることを重視して取り組んでいます。

100年の歴史に根差す、時代のリーダーを育成する本校の教育活動にどうぞご期待ください。

本校では、都民や広く社会からの期待を踏まえたスクールポリシーを定めています。

スクールミッション

校是「全員指導者たれ」に基づく「自主・自律・人間尊重」を教育目標とし、進路、学習、生活指導を総合的に一体化した指導方法であり、開校以来の理念「大家族主義」に根ざす、「新宿システム」の着実な実施や地域貢献活動を通じて、学力・創造力・リーダーシップを身に付け、持続可能な未来を創るリーダーとなりうる人材を育成する。

教育目標

本校の校是「全員指導者たれ」及び教育目標「自主・自律・人間尊重」を達成するため、生徒、保護者及び都民の期待に応える特色ある教育活動を展開して次のような学校を目指す。

- ① 生徒の学力を最大限に伸ばし生涯学び続ける力を育成する学校(学力向上・学習指導)
- ② 次代を担うたくましいリーダーを育てる学校(全人教育・生活指導)
- ③ すべての生徒が希望する進路を実現できる学校(希望進路実現・進路指導)
- ④ 生徒、保護者、都民から信頼され、地域に貢献する学校(地域貢献)

スクールポリシー

アドミッションポリシー — 本校が期待する生徒の姿 —

- ① 学習成績が優秀であり、入学後も学習に対する向上心を持ち、難関大学への進学を目指す生徒
- ② 社会や自然に対する幅広い知的興味や探求心を持ち、自ら学び、自ら考え、判断し、表現できることを目指す生徒
- ③ 挨拶・時間厳守・人の話を聞くこと・きちんとした服装や髪型など、集団の一員としてのマナーを身に付けている生徒
- ④ 部活動や生徒会・委員会活動及び奉仕活動などに積極的に取り組んだ経験を持ち、学習との両立を前提に、高校生活においても様々な分野で活躍することに意欲をもつ生徒

カリキュラムポリシー — 本校で行う取組 —

- 1・2年次は大学入学共通テストに対応した、文系・理系に分けない共通履修を行う。3年次は、進学型単位制の利点を生かし基礎・応用や演習など本校独自の学校設定科目も含め、各生徒の志望大学に合わせた幅広い科目選択を行う。興味関心に応じて、年次の区別なく自由に選択できる、第2外国語科目や英会話、芸術の授業も選択可能とする。
- 自律的生活習慣の確立を図るため、挨拶、時間厳守、身だしなみ、清掃指導、ルールを守り、マナーを身に付け、人の話を聴く態度を全職員で育成する。また、地域行事やボランティア活動に参加し、地域への協働と貢献を行う。
- 部活動ガイドラインに基づいた部活動と学級担任からの模試結果等の情報提供や部活動顧問による啓発指導等を相互連携して行い、部活動と学習の両立を図り部活動の仲間と学習でも競い合うような態度を育成する。
- 社会や自然に対しての好奇心を総合的な探究の時間や理系活動研究を通して研究し、自分の考えを明確にして議論を行い、英語でも表現できるようにする。授業時間外の補習・講習を充実させ、学習達成度をもとにすべての生徒の進路実現に向けて個に応じた指導を組織的に行う。

グラデュエーションポリシー — 本校を卒業する生徒の姿 —

- 授業を中心とした学習と補習講習により高校段階での必要かつ十分な学力を身につけている。
- 複雑な入試問題を解くため、教科書の内容の修得と徹底した演習と講習、添削指導により教科書の内容を利用して分析的思考力と論理表現力を必要とする入試問題を解ける能力。
- 大学入学後、高校段階での学習内容と大学での教養課程のつながりを認識でき、めざす専門教育に円滑に移行できる能力。
- 総合的な探究の時間や理数研究校、英語教育研究推進校の取り組みを通して、大学や企業で求められる自ら課題を定義し、そのことに関して積極的に調査や議論をして、よりその課題に対して考えを深める課題解決能力を身につけている。
- 解答のない、見えない課題に対して必要な情報を検索し、その中から解決に必要な情報を抽出して、組み合わせで解決まで過程を作り、行動し、振り返りながら次の行動を省察する能力。
- 挨拶、時間厳守の意識、身だしなみなどの指導を日常生活から徹底し、ルールを守り、周りの人と困難に立ち向かう「自主・自律の精神」の育成と他の意見を聴き人格を重んじる「人間尊重の精神」を、進路、学習、生活指導を総合的に一体化する指導計画「新宿システム」の着実な実施を行うことにより体得させ、将来の自分のありたい姿を明確に表現できている。
- 自分のなすべきことを自分自身の頭で考えて定め、実現するために、自分の能力を分析し自らの行動を律する自己管理能力を身につけ、自分の判断や行動について、自ら責任を持ち、決めることができる能力
- インターンシップや奉仕体験活動など地域貢献を通し社会参画意識を向上させ、また臨海学校や行事、部活動を通して周囲と家族のような信頼関係を積極的に構築し、将来、地域社会をまとめることができ指導者として次世代を担うリーダーとなる資質が育っている。
- 集団の中での当事者意識を持ち、行動できる能力。自分の考えたことが集団の中でどのような影響があるか認識し、集団が持つ課題や自分の立ち位置や役割を認識して行動し、自分の意思や判断で責任を持って行動し、集団を先導できる能力。

沿革

大正10(1921)年に東京府立第六中学校として設置。昭和25年の学制改革に伴い東京都立新宿高等学校と改称するとともに、男女共学制となりました。
令和4年度に創立100周年を迎え、現在までに約3万人の卒業生を各界に送り出しています。

1921(大正10)年

東京府立第六中学校として設置、翌年、開校
第1回遊泳大会(現在の臨海教室)実施



仮校舎正門と生徒登校退出の光景
(1921(大正11)年開校記念祝賀絵葉書より)

1923(大正12)年

千葉県館山市に塩見朝陽舎(館山寮)完成

1948(昭和23)年

新学制により東京都立第六新制高等学校となる



第1回遊泳大会(1921(大正11)年)

1950(昭和25)年

東京都立新宿高等学校と改称・男女共学制実施



本校初代校舎

2003(平成15)年

進学重視型単位制高校に改編

2004(平成16)年

現校舎完成



本校現校舎

2007(平成19)年

東京都教育委員会より「進学指導特別推進校」に指定

2011(平成23)年

東日本大震災震災当日、帰宅困難者推計3,000人を受入

2022(令和4)年

創立100周年記念式典を実施予定

新宿高校コラム 1

本校の第二の校歌ともいわれ、今も臨海教室などで歌われる「六中健児の歌」には、「興國之鐘」という言葉が出てきます。この「興國之鐘」とは、日露戦争時に活躍した戦艦三笠の時鐘(じしょう・時刻を知らせる鐘)で、三笠除籍後にその鐘が府立六中に下賜され、校内の鐘楼に掲げられて六中の象徴となりました。終戦後、進駐軍による接収を逃れるために、その鐘は校内の地中に埋め隠されたといわれています(以後、何度か発掘作業が試みられたが発見されていません)。現在でも校地のどこかにこの「興國之鐘」が眠っているという伝説が残っています。

校是「全員指導者たれ」の言葉の下、新宿高校が生徒の進路希望実現に向けて取り組むための2つの特色について紹介します。

進学重視型単位制高校

新宿高校は生徒個人の志望大学に合わせて必要な科目を選択できる「進学重視型単位制高校」です。単位制の高等学校は学年の区別がなく、3年間で、必修科目と自分の適性・興味・進路に合った科目を選択して、卒業までに所定の単位数を習得すれば卒業できます。このため、学年制の学校と異なり、1学年、2学年とは呼ばず、1年次、2年次と呼んでいます。

本校は、国公立大学への進学を希望する生徒が多くいることから、1・2年次は大学入学共通テストに対応した、文系・理系に分けない共通履修の形をとっています。3年次は、基礎・応用や演習など本校独自の科目も含め、各生徒の志望大学に合わせた幅広い科目選択を行うことになります。

また、1・2年次でも、自分の興味に応じて、年次の区別なく自由に選択できる、第2外国語科目や英会話の授業も学ぶことが可能です。

〔主な特長〕

- 大学進学や生徒のニーズに対応した多様な選択科目
(例) 理系古典演習、文系数学演習、日本史演習、化学基礎演習、ドイツ語I・II など
- 学年制普通科高校(進学指導重点校など)に比べ、多くの教員を配置した手厚い指導
(単位制高校加配教員 11人)

進学指導特別推進校

本校が指定されている、「進学指導特別推進校」は、国公立大学や難関私立大学等への進学を実現するために必要な学習に取り組む学校として東京都教育委員会から指定されている学校です。

本校では、生徒の進学希望にこたえられるよう、学力向上に向けた進学指導を推進しています。高い志をもち、将来社会のリーダーとなる、高い資質をもった生徒の能力を一層伸長させ、進学希望を実現させるため、進学指導の体制を充実させ、安定的な進学実績の確保に努めています。

また、様々な教育活動の中で、高い志をもたせ、維持させ、それを実現するのにもっともふさわしい進学先を目指させることや、進学先を下げた妥協することは、将来の自分の「志・夢・目標」を下げることにつながるという指導をおこなっています。

〔主な特長〕

- 単位制の利点をいかしつつ、国公立大学等への進学に対応した教育課程を編成
- 学年制高校よりも多く教員が配置されていることを生かした、充実した習熟度別授業
- 長期休業期間中の充実した補習・講習
- 自習室開室(平日夜8時まで、年末年始も開室)

新宿高校コラム 2

新宿高校の自習室

新宿高校の自習室は、2、3年次生は4月から1年次生は1学期の中間考査後から利用できます。授業のある平日は、通常午後8時まで利用可能です。部活動で汗を流したあと、自習室に来て勉強してから帰宅する生徒も多くいます。1日の中での集中と切りかえに取り組んでいます。





第一志望を実現させる5つのキーワード

キーワード1 「チーム新宿」

本校創立以来の「大家族主義」の言葉の下、教員、保護者、卒業生が生徒の成長をサポートしていきます。

教員… 「進学指導特別推進校」だからできる教員公募で、熱意と技量がある教員が配置されています。

保護者… 三者面談の実施や高い保護者会参加率により、学校の動きと一体となった家庭での声かけを行い、あらゆる面から生徒の成長を見守ります。

卒業生… 同窓会の協力のもと、本校の長い歴史の中で、培われた卒業生の人脈により、キャリアガイダンスや進路講演会での講演、臨海教室などの行事、部活動での指導や協力をいただくことで、伝統に根ざした本校ならではの体験を得ることができます。

熱い担任団と切磋琢磨しあえる友人のおかげで楽しい学校生活を送れました。
(令和4年卒 松浦慶英さん(一橋大・経))

面接指導をしっかりとってもらえて助かった。自信をもって本番に臨むことができた。
(令和4年卒 越智萌々香さん(金沢大・医))

新宿高校コラム ③

新宿高校の大家族主義

本校初代校長阿部宗孝先生は創立にあたって、「学校、家庭、同窓、生徒が一体となった大家族主義」という理念を示しました。それ以来、この理念のもと教育活動に取り組んできており、近年のチーム新宿として一体となって生徒の成長をサポートすることにつながっています。

キーワード2 「目線合わせと学年集会」

進路指導では「生徒一人一人が主役」。

8人の担任と進路指導部が中心になり、320名の生徒を観ていきます。

- ・ 模擬試験・実力試験のあとは、学年集会を開き、結果の見方、各教科からの講評などを通して、学力の定着状況を学年全体で共有します。
- ・ 学年担任・進路指導部・担当する教科担当者、部活動顧問で各生徒の学力状況についてカンファレンス（目線合わせ）を行い共有します。
- ・ 面談では、目線合わせなどで担当教員全体で共有した現在の学力状況に基づく指導助言を行います。

大学の情報について、自分でも調べているはずなのにそれ以上に詳しく、細かく提案してくれました。
(令和4年卒 中島友太さん (東京工業大・生命理工))

キーワード3 「進路は補欠なき団体戦」

本校で学ぶ全ての生徒が一体となって、目標に向かいます。

補欠になる生徒は出しません。一人一人が主役。一人の落伍者をださないための指導を充実させています。

- ・ 目線合わせを基にした弱点補強指導を行います。
- ・ 授業での小テスト・宿題・週末課題による授業と家庭学習による学力定着を図ります。
- ・ 国語（古典）、数学、英語、化学における習熟度別授業(定期考査ごとに習得状況で編成替)を行うことで、生徒の学力状況に応じた授業展開を行います。
- ・ 学校全体で、年間1700時間の補習・講習を実施します。

勉強するのが嫌な時でも、自習室で頑張っている友達を見て、私も勉強しよう！という気になりました。
(令和4年卒 吉田遥香さん (東京外国語大・国際社会))

キーワード4 「自主・自律・人間尊重」

本校の生活指導のモットーは「生徒の良心に訴える指導」です。この言葉の下で下記の各項目を重視した指導で生徒の自律的規範意識を醸成します。

- ・ 禁止事項は多くはありません。「自転車・エレベーター・サンダル下駄・染髪」等
- ・ あいさつ励行・身だしなみ（頭髪指導、標準服）
- ・ 遅刻厳禁「遅刻 1日1学級1人以下」 1日1クラス約0.7人
- ・ 時間厳守「5分前行動」の励行「時間を守れない人間は、信用されない」

部活、行事など、とにかく高校生活は生徒主体で行われていきます。自分で判断すること、周りの人の気持ちを考えること、受験を越えて社会に出たときに大切なものを学ぶことができます。

キーワード5 「大学受験は学校行事だった」

授業6時間→部活動2時間→自宅学習2～3時間を1年次から実践しています。

- ・ 90%以上の生徒が部活動に加入しています
- ・ 部活動と学習とのバランスをとること、切り替えを行うことを指導しています。
- ・ 部活動後の自主学習を支えるため、自習室を20時まで開室しています。共に学ぶ生徒同士の切磋琢磨や一体感が生まれます。

多くの学校行事を通して培われた仲間意識で受験を乗り越えていきます。運動会・臨海教室・朝陽祭、多くの学校行事を越えて新宿生になるといわれています。大学受験もその延長線上にあるという考え方で日々の努力を続けています。

行事でたのもしかったいつでも明るい雰囲気のカラスは受験でも心の支えで、教室にいるとポジティブになれる気がします。
(令和4年卒 E.Nさん (千葉大・文))